

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 徳島県立徳島科学技術高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 770-0868
徳島県徳島市北矢三町2丁目1番1号

E-mail : tokushima-hst@mt.tokushima-ec.ed.jp

Website : http://tokushima-hst.tokushima-ec.ed.jp

児童生徒数：男子 777 名 女子 113 名 合計 890 名
 児童・生徒の年齢 16 歳～18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

環境に貢献する活動

1)活動の目的

徳島県は四国の東部に位置し、森林面積は75%を保有する。そのため森林環境のつながりや資材としての県産材の利用について啓発することを目的とする。

2)デザインコンペの開催

間伐材の有効利用するためのアイデアとユニバーサルデザインを念頭においたデザインの製品化をめざす。

○平成 25 年 7 月 18 日(木)デザインコンペの説明会

県産材の利用の実例と森林保全について講義

○平成 25 年 9 月 30 日(月)デザインコンペ審査会

徳島県次世代プロジェクト、県木材協同組合、徳島ロータリークラブ、近隣幼稚園、工芸所など審査員 6 名により優秀作品の選考会が行われた。その後、優秀賞の作品は企業により試作された。



○平成 25 年 10 月 19 日(土)20 日(日)徳島の自然環境を未来につなげるフェアで活動

このフェアは、山の特産品や木製品の展示などがあり、地域の方々に森林と親んでもらうためのイベントである。本校生は自分たちが制作した木製品を展示し、未来を担う高校生としての役割を考える活動であった。



○平成 25 年 12 月 12 日(木)から 15 日(月)東日本大震災の被災地へでかけて、現地 で活動(木製品の寄贈活動と研修)

本校では、生徒が実習や課題研究などの授業で制作した木製遊具を宮城県東松島市・石巻市の保育所との交流によって寄贈する活動を行った。



この活動をきっかけに東北大学大学院教育学研究科加藤道代教授と連携することができた。心的外傷から立ち直るためには何が必要かについてあらためて考える講義であった。また、現地研修では被災地の現状から、復興が進んでいない状況に生徒も教員もショックを受けた。



今後、さらにこの活動を発展させ、防災意識と実践力を身につけた生徒の育成に取り組んでいきたい。

○平成 26 年 2 月 5 日(水)徳島ロータリークラブにおいて報告

徳島ロータリークラブの例会で、「ものづくりを通しての出会いと学び、子供たちとのふれあい」と題して、本校生が報告会を行った。



(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()